

白龍神社の伝説について簡単にお知らせ致します。

昔、現在の東山植物園前の龍ヶ池より荒池に至る附近は人跡全く無き林野でありました。其の地域には大蛇が生存致し居ると言い伝えられて居りました。昭和五年頃、当山附近にて開拓にあたり、大蛇住処の祟りを恐れ、鍬入れ前に、本祠内に現身を避けしめ給えと、全久寺二十一代 住持比丘 植田八幡宮 神職 秀知靈を祈り封じ 御佛神体は観自在菩薩 並びに龍化身で（いずれも金物です）あり 当地の幸栄を代々住民が祈願し、本祠を守り続けられ、現在に至っております。

以上

昭和五十三年十月吉日

藤卷町自治会

氏子総代

丸山 四十三